



Q：俳優の野際陽子さんが肺腺がんで亡くなりました。また、歌舞伎俳優の中村獅童さんも肺腺がんであることを告白されました。

A：肺がんは組織学的に、腺がん、扁平上皮がん、大細胞がん、小細胞がんの4つに分けられます。肺腺がんは、わが国で最も発生頻度が高く、男性の肺がんの約40%、女性では約70%を占め、肺がん全体の約60%を占めます。肺腺がんの特徴は、初期症状が出にくい、喫煙との因果関係が弱い、女性の罹患率の方が男性より高い、化学療法や放射線療法が効きにくい、などです。

肺腺がんは、肺の末梢にできやすく、通常のX線検査で発見しやすい傾向があります。早期の肺腺がんは咳や痰、胸の痛みなどの自覚症状がほとんどないため、定期的ながん検診や健康診断などのX線検査で偶然見つかる場合が多いのです。

腺がんの次に多く、肺がんの約30%を占める扁平上皮がんでは喫煙の有無で10倍以上も罹患率が違うのですが、肺腺がんでは喫煙による罹患率の違いは2倍程度であり、非喫煙者にも多く発症するのが特徴です。原因として、女性ホルモンや大気汚染などとの関連が指摘されています。治療は、手術可能な状態ならまず手術を行います。

(岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニッコー北口駅前ビル2F)

☎0555・2888・1801